



青柳園だより

令和4年
3月号
文京区立青柳幼稚園

自信をもって、新しい一歩を踏み出そう

園長 多比良 由恵

日差しに春を感じる3月、園庭の木々をよく見てみると、桜にはまだ硬いツボミが、紫陽花には小さな新芽が次の季節の準備をしていることが分かります。

子どもたちも、この一年、青柳幼稚園で過ごした日々の中でたくさん遊んで、友達と関わって、皆で楽しいことをしてきました。各学級では、2月から3月に“今までみんなですてきた楽しかったこと”を毎日一つずつ取り入れて遊んでいます。

「〇〇鬼、久しぶり。楽しみだな〜」「お弁当の後はドッチボールだ。早く食べよう」など、友達や先生とこの一年を振り返りながら楽しんでいます。

幼児教育は見えにくい教育と言われることがあります。“今、この教科のこの単元を学んでいる”というような教科書はありません。教師は、目の前の子どもたちの発達や実態をしっかりと捉え、成長と課題を把握します。期や週など長期と短期の視点から日々の保育を組み立て実践し、遊びを通して学びの芽を育てていきます。

花びら、草花の色水、ドングリ、氷など自然とのふれあい、野菜の栽培・収穫・試食など、その季節、その時でなくてはできないことは、逃さずに体験できるように計画していきます。風や雪などの自然現象や「今朝は落ち葉がたくさん落ちているから、落ち葉のお風呂が作れそう」など、急な環境の変化や状況も、保育に取り入れていきます。このように、計画性と柔軟性をもちながら、一人一人の子どもたちと一緒に、日々の保育は展開されていきます。

『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』は、到達目標ではありません。幼稚園での日々の遊びや生活を通して、少しずつ育まれていく姿です。子どもたちが友達と気持ちを伝え合ったり、よりよい考えを出し合い困難を乗り越えようとしたりして



5歳児ゆり組 雛人形

いる姿を見ていると、しっかりと学びの芽が育まれていることを感じます。これらの姿は幼稚園だけで育まれるのではなく、ご家庭や地域の皆様の温かい支えがあってこそその姿です。子どもたちは、新しい季節に向かってそれぞれに「幼稚園で〇〇ができたから、大丈夫！」と自信をもって、次の一歩を踏み出そうとしています。

今年度も、本園の教育活動にたくさんのご理解とご協力をくださり、支えてくださいましたことに、教職員一同心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

青柳幼稚園のことを皆様にご紹介いただく機会の一つとして、青柳幼稚園のホームページやツイッターを随時、更新しております。ぜひご覧ください。

